

令和 8 年度埼玉県高等学校バドミントン新人大会
個人戦西部支部予選会
実 施 要 項

- 1 主 催 埼玉県高等学校体育連盟西部支部
- 2 主 管 埼玉県高等学校体育連盟西部支部バドミントン専門部
- 3 期日・会場 令和 8 年 8 月 1 8 日（火）男子 所沢市民体育館（複）開会式 9 時 0 0 分
8 月 1 9 日（水）女子 所沢市民体育館（複）開会式 9 時 0 0 分
8 月 2 0 日（木）男子 所沢市民体育館（複・単）
8 月 2 1 日（金）女子 所沢市民体育館（複・単）
8 月 2 4 日（月）男女 所沢市民体育館（単）

所沢市民体育館（TEL04-2991-1181） 8 時 3 0 分開場 9 時 1 5 分開始（予定）
- 4 種 目 個人対抗(男女各個人戦単・複)
- 5 競技規則 (1) 令和 8 年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程による。
「代替スコアリングシステム 2. 1 ゲーム 15 点で 2 ゲーム先取の 3 ゲームマッチ」を適用します。
(2) 令和 8 年度公益財団法人日本バドミントン協会検定・審査合格用器具並びに第 1 種または第 2 種検定合格水鳥球を使用する（シャトルは、各校持ち寄りとする）。
- 6 競技方法 (1) 単・複をトーナメント戦で行う。順位決定戦を以下の通りに行う。
① 3 位決定戦を行う。
② ベスト 8・ベスト 1 6 内の順位決定戦を 1 回戦のみ行う。5・6 位、7・8 位、9～1 2 位、1 3～1 6 位は抽選で決定する。
③ ベスト 3 2 の選手を 2 組に分けたトーナメント戦を行う。勝ち残った選手を抽選により 1 7・1 8 位に決定する。
④ 同一校を含む抽選の時には、校内ランキングを考慮する。
⑤ 順位決定戦の組合せは、本選トーナメント表をもとに事前に作成しておく。
(2) 大会参加申し込み〆切以降の選手変更は、いかなる場合も認めない。
(3) 運営上の都合により進行内容等を変更する場合がある。
- 7 参加資格 (1) 選手は、埼玉県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で当該大会実施要項の参加資格を有する者とする。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
(2) 監督・コーチ・選手は、今大会申込締切日までに（公財）日本バドミントン協会会員登録を完了した者とする。
(3) 年齢は平成 2 0 年 4 月 2 日以降に生まれた者とし、1、2 学年に在籍の者。但し、出場は同一競技 2 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
(4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。但し、全日制・定時制 I 部の混成チームとして認められた競技はこの限りではない。
(5) 転校後 6 ケ月未満のものは参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住等やむを得ない場合は高体連会長の許可があればこの限りではない。

- (6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断（未実施の場合は保健調査票等による健康状態の確認）を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (7) 参加資格の特例
- ア 上記（1）に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断された生徒について、別途に定める規程に従い大会参加を認める。
- イ 上記（2）の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規程]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、埼玉県高等学校体育連盟会長に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加を認める条件
 - ア 埼玉県高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校・高等専門学校・専修学校及び各種学校にあつては、学齢・修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 埼玉県高等学校体育大会開催基準要項及び埼玉県高等学校体育連盟対外試合規程を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- 8 引率・監督
- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
 - (2) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員（公立学校の場合は教員）とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。
 - (3) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
- 9 参加制限
- (1) 単・複とも監督1名とし、複の選手は同一校選手であること。
 - (2) 男女各1校 6複8単まで出場できる。ただし、
[地区大会出場選手] + [県大会フリーパスの選手] ≤ [6複8単]
とする
 - (3) 単・複において、令和8年度学校総合体育大会県大会ベスト32以上の者は今大会に出場せずに新人大会県大会個人戦に出場できる。（ダブルスの場合は両選手がベスト32以内また、その組み換えに限る）

- 10 申込方法
- 西部高体連バドミントン専門部ホームページから申し込み用紙をダウンロードし、選手名

を「校内ランキング順」に入力したものを「okita.atsushi.9c@spec.ed.jp」宛に添付ファイルとして送信すること。

メール送信締切り：8月4日（火）19：00

- （1）不参加の場合も、電話またはメールでご連絡ください。
- （2）選手名・校内ランキング等はメールのものが優先されます。
- （3）協会登録をすませてから申し込みをしてください。

※個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

参加の場合は、大会初日に捺印された申し込み用紙を提出してください。

11 表 彰 優勝者～3位入賞者に賞状を授与する。

12 組 合 せ 令和8年8月7日（金）に地区委員の責任において行う。

- 13 試合進行等
- （1）審判については次のように行う。（変更の可能性有）
シングルス：試合後の審判は勝者が得点係。敗者が主審、線審は次の試合の選手が行う。
ダブルス：試合後の審判は、勝者が線審、敗者が主審・得点係を行う。
ベスト32決定戦の試合時に敗者審判制へ変更する。
 - （2）競技時の服装及びシューズは、（公財）日本バドミントン協会の審査合格品とする。
上衣の背中中央に必ず高等学校名及び都道府県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。「上段・・・学校名（やや大きく）、下段・・・都道府県名」判別しにくいものについては、ゼッケンを使用してもらう場合がある。ゼッケンを使用する場合は、白色の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とする。（ゼッケン使用の場合、文字の色は黒色又は濃紺色とする。）
 - （3）今大会の各種目上位18位までは11月に行われる新人大会県大会に出場できる。

- 14 参加上の注意
- （1）競技中の疾病、傷害などの応急措置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
なお、参加者は健康保険証を持参すること。
 - （2）参加校の選手は、必ず引率責任者によって引率され、また学校は参加選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
 - （3）生徒の参加については、生徒本人及び保護者の同意を確認すること。
 - （4）当該校引率責任者は、受付をすること。受付時に選手の健康状態の報告すること。
 - （5）マッチ中の水分補給は、必ず主審の許可を得ること。また、容器は倒れてもこぼれない容器を使用すること。フロアー内へのクーラーボックスの持ち込みは禁止とします。氷嚢はクーラーバックに入れてベンチで保管すること。

15 連 絡 先 埼玉県立坂戸西高等学校 新井 彰真
〒350-0245 埼玉県坂戸市四日市場101
(TEL 049-286-9473)